

共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(災害軽減研究)

1. 課題番号 2014 -Y- 先行1 (※)

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文: 公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査

英文: Survey of preseismic changes of the groundwater using the data observed by non-research institutes

3. 研究代表者所属・氏名 東京学芸大学・織原義明

(地震研究所担当教員名) _____

4. 参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	参加内容
織原義明	東京学芸大学・専門研究員	研究全般
鈴木裕子	東京学芸大学・大学院生	データ整理等

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

研究代表者・織原義明は研究全般に携わった。本研究では主に東北地方太平洋沖地震の地下水に関する先行現象を調査したが、現地調査は宮城県内の温泉施設を対象に行った。また、宮城県庁および仙台市役所の情報センターにて資料調査を実施した。これらはすべて研究代表者が行ったが、大学院生の鈴木裕子氏はここで得られたデータ・資料の整理等を担当した。具体的には紙ベースの資料のデジタル化などである。また、研究代表者は責任著者として関連する論文の執筆を行った。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

Preseismic Changes of the Level and Temperature of Confined Groundwater related to the 2011 Tohoku Earthquake, *Scientific Reports*, doi: 10.1038/srep06907, (2014). 有り

東北地方太平洋沖地震前の漁獲異常に関する調査ー『三陸海岸大津波』との比較ー, 地震, **67(2)**, 81-85, (2014). 無し